

祇園小学校 校長だより（第10号）

平成30年6月11日

「清心」

文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

学校は、いつも「こどもの日」

校長室の入口に小さな「鯉のぼり」を掲げています。こどもの日を過ぎても掲げていますが、「学校は、いつも『こどもの日』だから。」という私の説明に、子どもたちは嬉しそうな笑顔で応えてくれました。

「こどもの日」とは、祝日法に「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかる」と定められています。また、「鯉のぼり」は、男児の出世と健康を願った風習だそうですが、男児に限らず女兒も含めて、「全校児童が健康で幸福であってほしい」との願いを込めて掲げています。

佐世保市中学校体育大会の素晴らしかった入場行進

6月9日（土）から佐世保市中学校体育大会が開催され、9日の総合開会式では、各学校の堂々の入場行進が行われました。我が祇園中学校の生徒も立派な入場行進でした。小学生もいずれは中学校にあがり、力強くたくましく成長するんだなと思いながら行進を眺めていました。

個人差はありますが、それぞれの子どもの自立（自律）を促しながら、たくましく、しなやかに成長させていきたいものです。

祇園歴史の旅（その10）「中佐世保駅のパネル絵」

平成25年度の3年生（現在の中学2年生）制作のパネル絵が、中佐世保駅に掲げているのをご存じでしょうか？ 関東地方で放映されるテレビ朝日の番組の中で松浦鉄道中佐世保駅のパネル絵も紹介されたそうです。番組はこちらでは観ることができませんでしたが、中佐世保駅の右にある屋根付きベンチの後ろに、横5m程度、縦2m程度の実物が掲げてありますので、是非ご覧ください。

「おもいやり」「おもてなしのまち」の文字や、車いすに乗った人、外国の人、大人も子どもも手をつないだ笑顔の人物や、明るい町並みなどが描かれています。